

国立病院機構 西新潟中央病院

— 地域とともに、日々とともに。「今」を伝えるもの語り —

Care + Nishinigata Chuo Hospital 2024 October

かれん

vol.
13
2024年
10月



国立病院機構 西新潟中央病院

〒950-2085 新潟県新潟市西区真砂1丁目14番1号 TEL.025-265-3171 FAX.025-231-2831

<https://nishinigata.hosp.go.jp/>



message

病院祭にご来場くださったみなさま、 ありがとうございました

5年ぶりの開催となった7月7日(日)の病院祭。
私たちチーム西新潟のメンバーは、近隣住民の方々はじめおよそ500名をお迎えし、数え切れないほどの笑顔と出会うことができました。

第1回の病院祭(2009年)から、
ラベンダーの咲き誇る7月上旬に開催しています。
実行委員長だった私の記憶では、初回来場者数は約240名でした。

今も忘れられないのが2013年の病院祭です。
開場と同時に、想像をはるかに超えた来場者の波。
おそらく2,000名以上の方々がみえました。
「完成したばかりの7階建て新病棟を内覧できます」と広報していたため、
地域の期待の高さを私たちは深く心に刻みました。

今年元日の地震では、
近隣の方々およそ550名が当院に一時避難されました。
その記憶の残る中、このたびの病院祭で気づいたことがあります。
《数百名の地域の方々を、数時間だけ病院内にお迎えする》貴重な経験は、
私たちチーム西新潟にとって、地震津波災害時に避難住民を
適切に受け入れる訓練にもなる、という発見です。
地震など決して来てほしくないですが、日頃の備えの観点から
「地域にとっての病院祭」の意義を新たに実感した今年の夏でした。

※チーム西新潟:当院で勤務するすべての職員

国立病院機構 西新潟中央病院
病院長

おおだいら てつろう
大平 徹郎



かれん

vol.13

Care+Nishinigiata Chuo Hospital
2024 October

かれん(Care+N)とは、ケア(いたわる心)と、
西新潟のNを組み合わせでできた名前です。
優しさと親しみを込めて呼んでもらえるように。
そんな思いから生まれました。

contents

03

Care+N forum

1病棟 副看護師長 渡辺 竜太／高野 亮
2病棟 副看護師長 槇田 裕之／坂内 瑠美子

05

Care+N specialist

特別版「てんかん手術支援ロボットとは？」
臨床研究部長 機能脳神経外科部長
福多 真史

07

Care+N letters

[5年ぶりの開催! 第12回病院祭が行われました]
[「看護の日」にちなんだイベントを開催]
[タイからの研修生が2週間の臨床実習]
[2024年度永年勤続表彰式が行われました]

09

information



患者さんにご家族の 安全安心を第一に考えて。

1病棟・2病棟=重症心身障害児(者)病棟を取りまとめる、副看護師長4名に、仕事のやりがい、副看護師長としての心がけなどを聞きました。



2病棟 副看護師長
まきた ひろゆき
槇田 裕之

1病棟 副看護師長
わたなべ りょうた
渡辺 竜太

2病棟 副看護師長
ばんない るみこ
坂内 瑠美子

1病棟 副看護師長
たかの りょう
高野 亮

重症心身障害児(者)病棟における看護ケアの特徴を教えてください。

槇田: 重心の患者さんは長期入院されている方がほとんどです。みなさんの生活の場としての、日常生活の援助が私たちのメインの業務です。

坂内: 1病棟・2病棟とも患者さんの年代は幅広く、コミュニケーションの取り方もさまざまです。それぞれの患者さんに合わせた看護ケアを、療養介助員・保育士・リハビリ担当スタッフなど多職種で連携して行っています。

副看護師長の役割とは？

渡辺: 患者さん・スタッフ・看護師長、そのすべてをつなぐのが私たち副看護師長です。患者さんのお話を聞いてスタッフに伝える。スタッフの相談を受けて師長と相談する。という、橋渡的存在です。

高野: 管理者としてマネジメントの視点を持つこと、スタッフとして患者さんへの直接的ケアを行うこと、その両方が必要です。責任ある立場だと思います。



坂内: 病棟運営のほか、スタッフの育成や働きやすい環境づくりも私たちの仕事です。それが患者さんへのケアの質の向上につながっていると思います。

副看護師長としてやりがいを感じる瞬間は？

槇田: 私は管理者というより、患者さんと接する時に感じますね。コミュニケーションが難しい患者さんでも、笑顔とかありがたいの気持ちを伝えていただいたりすると、本当にうれしいです。



坂内: わかります！患者さんから反応が返ってくると元気をもらえますよね。

渡辺: 管理の場面では、スタッフから相談を受けた時に、それをうまく対処することで、いいことにつながったり、大きなやりがいになったりします。

坂内: 先輩のできることが増えてきたり、挑戦する姿を見たりするとうれしく思います。私は医療安全も担当しているので、スタッフが患者さんの安全を考えて行動していると、取り組んできて良かったなと感じます。



高野: 私は一度社会人を経験してから看護師を目指したのですが、看護の仕事には、対価として物とか形ではない喜びや達成感があるなと感じます。

副看護師長になってからは大変なことも多いですが、やりがいを自信に変えて、初心を忘れずやっていきたいですね。

どんな病棟づくりをめざしたいですか？

高野: 1病棟・2病棟は同じ重症心身障害児(者)病棟なので、統一できる看護や業務は統一していきたいと話しています。

槇田: 何かあればすぐに対処できるよう、病棟同士での情報交換や連携を密にしていきたいと思います。看護の質がより上がると思います。

渡辺: 患者さんやご家族のためにも、スタッフ全員が安心安全な看護を心がけることは、今まで以上に徹底していきたいですね。

坂内: はい。お一人おひとりのご要望も伺いながら、快適な療養環境づくりに取り組んでいきたいです。

槇田: 患者さんにはどんなことでもご相談いただいて、安心して過ごしていただきたいですね。

「てんかん」の手術時間を大幅に短縮、患者さんの負担を減らす
画期的な手術支援ロボットが当院に導入されました。
最先端の医療機器について、福多先生にお話を伺いました。



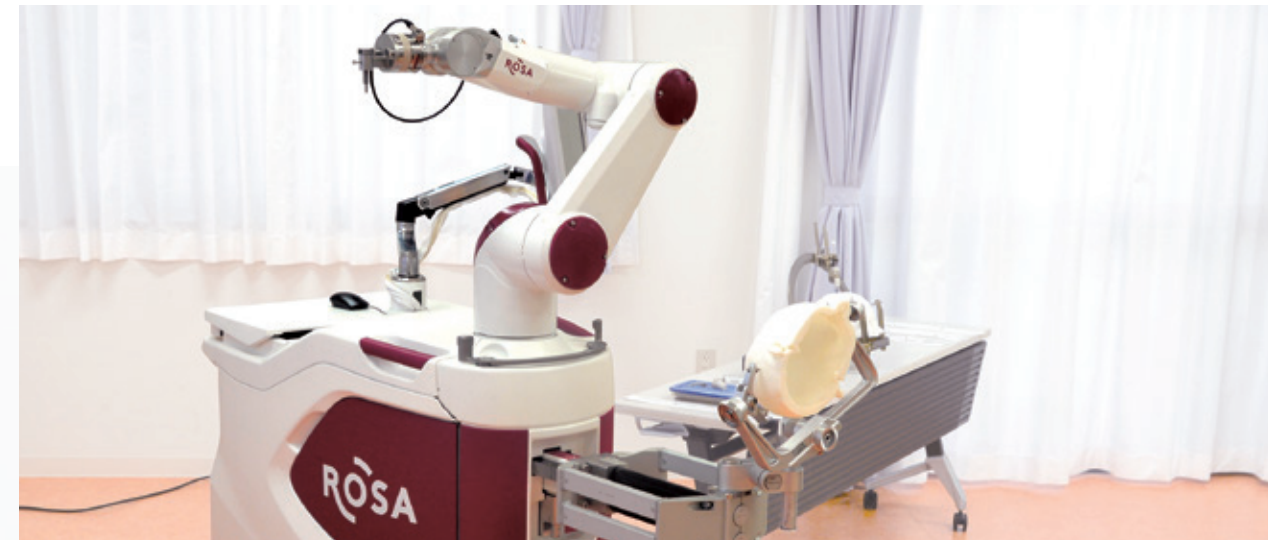
Interview Start >>

ロボットの導入で 難易度の高い手術も より確実・安全に

臨床研究部長
機能脳神経外科部長

ふくだ まさふみ

福多 真史



全国でもまだ少ない てんかん手術支援ロボットを導入

当院では2023年12月にてんかん手術支援ロボット「ROSA One ロボットシステム」を導入し、2024年1月から稼働しています。全国で4施設目、日本海側では初の導入となり、当院ではこれまでに9例の手術実績があります(2024年8月現在)。

脳の深部にある焦点を ピンポイントですばやく特定



てんかんの手術前に、頭蓋骨に穴を開け、脳の中のでんかん焦点に向けて細い電極を入れる検査を行うのですが、脳の深部にある焦点を見つけだし、電極を差し込むのはとても難しい行為です。これまでは、MRI検査や脳波検査などで焦点が絞り込めない患者さんは、大きく頭を開けて脳の表面に電極を置いてきたり、特殊なフレームを頭につけて、人間の目で目盛りを合わせて脳の深いところに電極を入れていました。その点、ロボットは焦点の場所を正確に計算し、どんな角度で電極を入れるかまで詳細に判断してくれます。また、従来は検査を含め2~3週間のうちに2回も全身麻酔の大きな手術をする必要があり、患者さんはかなり体力を消耗されていましたが、ロボット導入後は傷も小さく済み、検査翌日からみなさんお元気に過ごされています。手術時間も短く、医師の負担も軽減。すべてが劇的に改善されました。

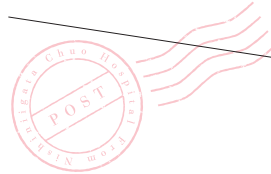


てんかんでなく パーキンソン病の手術にも有用

現在は主に伊藤陽祐先生の執刀で、スピーディーかつ正確・安全な手術を行っています。ロボットが導入されたことで、今後ますます患者さんへのメリットは広がっていくだろうと思います。手術が難しいと思われていたてんかん患者さんはもちろん、脳の中に永久的に電極を埋め込む「脳深部刺激療法(DBS)」という、主にパーキンソン病などで行う手術にも非常に有用であることがわかっています。

手術をもっと受けやすく 患者さんのハードルを下げられたら

新潟県のでんかん支援拠点病院である当院。てんかん手術支援ロボットの性能や成果がもっと広く認知され、県内はもとより、隣県や県外のでんかん患者さん、さらにパーキンソン病で手術が必要な患者さんが、今まで以上に手術を受けやすくなればと願っています。手術が怖いと感じる方や、身体的ダメージを案じている方にも、ぜひロボットでの手術を受けていただきたいですね。



topics 01

5年ぶりの開催！
第12回病院祭が行われました(7月7日)



楽しんでくださいね!



ラベンダーをお土産に!

2019年以来、5年ぶりの病院祭が開催されました。今年のテーマは『5年ぶりだよ、全員集合!! ~チーム西新潟おかげさまで30周年~』。演奏会やバザーなど楽しい催しをはじめ、医療・健康に関する体験、講演会など盛りだくさんのプログラム。患者さんや地域のみなさまが訪れ、にぎやかな時間を過ごしました。

お立ち寄りいただき
ありがとうございました!



topics 02

「看護の日」にちなんだ
イベントを開催(5月28日)

毎年開催している「看護の日」のイベントとして、新潟市西区の商業施設を会場に、健康チェックや体操体験、健康相談などを行いました。多くのみなさまに、看護の心を知っていただく機会となりました。



topics 03

タイからの研修生が
2週間の臨床実習(5月20日~31日)

タイ王国のマヒドン大学(Mahidol University)から理学療法学生2名が訪れました。臨床実習(見学)のほか、実習生による院内講演会も実施。タイからの研修は今回で7回目、同大学からは6回目の受け入れとなります。



修了証を手に
記念撮影をバチリ!



topics 04

2024年度永年勤続表彰式が
行われました(7月11日)

本年度の表彰者は勤続30年が4名、勤続20年が7名の合計11名。式典では大平病院長から祝辞と賞状が贈られ、出席した職員の代表者が感謝の言葉を述べました。長年の功績を讃えられたみなさん、おめでとうございます。



外来診療担当医表 [2024.10]

[受付時間]8:30~11:30 [休診日]土・日曜日・祝祭日

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	午前 (予約制)	大平 徹郎 (呼吸器/睡眠外来)	宮尾 浩美	森山 寛史	宮尾 浩美	松本 尚也
		森山 寛史	桑原 克弘	松本 尚也	桑原 克弘	木村 夕香
		木村 夕香	松山 菜穂	高橋 美帆	松山 菜穂 (隔週)	高橋 美帆
		松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)		松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)		
	午後 (予約制)		大平 徹郎 (睡眠時無呼吸) (再来のみ)			
呼吸器外科	午前	(手術日)	渡辺 健寛	(手術日)	古泉 貴久	渡辺 健寛
整形外科	午前		藤澤 純一	藤澤 純一	(手術日)	榮森 景子
小児整形外科	午後 (予約制)					榮森 景子
脳神経内科	午前	若杉 尚宏	高橋 哲哉	徳武 孝允	高橋 哲哉	長谷川 有香
	午後 (予約制)		黒羽 泰子			齋藤 奈つみ
機能脳神経外科	午前	福多 真史	(手術日)	福多 真史	増田 浩 (再来のみ)	(手術日)
		白水 洋史		伊藤 陽祐	白水 洋史 (再来のみ)	
		伊藤 陽祐				
	午後 (予約制)				太田 智慶 (再来のみ)	
てんかん科	午前 (予約制)		長谷川 直哉 (新患のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)
	午後 (予約制)		齋藤 奈つみ (再来のみ)		長谷川 直哉 (再来のみ)	
神経小児科	午前	三浦 雅樹 (再来のみ)	遠山 潤 (再来のみ)	関 衛順	遠山 潤	小林 悠
		山田 慧 (再来のみ)	小林 悠 (再来のみ)		三浦 雅樹	放上 萌美
	午後 (予約制)		遠山 潤 (再来のみ)	放上 萌美 (再来のみ)	遠山 潤 (再来のみ)	
		関 衛順 (予防接種)	三浦 雅樹 (予防接種)	関 衛順 (予防接種)	山田 慧 (予防接種)	放上 萌美 (予防接種)
難病リハビリ	9:00~15:00	出塚 真史	難病リハビリ 担当医	大学医/黒羽	若杉 尚宏	難病リハビリ 担当医
リハビリテーション科	第3金曜 午後					木村 慎二

外来受診について

外来診療は初診・再診を問わず、原則として予約制です。事前に予約をお取りください。

予約専用窓口 / TEL.025-265-2299

□翌日以降の予約(平日13:00~17:00) □当日の診療希望(平日9:00~11:00)

※予約なく紹介状をお持ちになりご来院されても、外来の状況で当日受診ができない場合があります。

【診療日程】

□初診・再診受付 / 8:30~11:30 ※救急の場合は、この限りではありません。

□休診日 / 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

TEL.025-265-3171(代表)へお電話いただくと、自動音声でご案内しております。

交通のご案内

【バス】

A.有明線

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

B.坂井輪コミュニティバス

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

C.西小針線(本数が多い)

「小針十字路」下車徒歩約10分

【JR】

越後線「小針駅」からタクシー3分

【車】

新潟バイパス「黒埼I.C.」から15分



epilogue



表紙の話: 楽しく安全な環境づくりを。重症心身障害児者通所「あかしあ」

今回表紙を飾ってくれたのは、通所「あかしあ」のメンバーたち。

看護師・療養介助員・保育士・児童指導員、そこに小児科の医師が加わり、チームとして活動しています。利用者のみなさまの生活の場として、入浴や食事、排泄の支援を行うほか、ハロウィンやクリスマスなど季節ごとの行事も企画しています。

いつでも快適に、安全に過ごしていただけるよう心がけています。

メンバーは左から、村岡美穂 看護師、小布施藍 看護師、川口絵美 看護師、浅妻濃 療育指導室長、渡邊由美香 保育士、川上一 療養介助員、石井優 看護師、土佐久美 看護師です。

かれん 2024年10月 vol.13 Care+Niigata Chuo Hospital 2024 October

〈発行人〉病院長 大平 徹郎 〈編集人〉丸橋 光明 高橋 篤史